

浅太郎鴉（1956）

メディア 映画

ジャンル 時代劇 任侠・ヤクザ サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1956/03/28

【解説】

「多羅尾伴内シリーズ 戦慄の七仮面」の比佐芳武によるオリジナル脚本をもとに「新・平家物語 義仲をめぐる三人の女」の三隅研次がメガホンをとった作品。主演の市川雷蔵と三隅はこの後、数多くの作品でコンビを組むことになる。

国定忠治の子分である板割浅太郎は、親分の命により百々村の紋次を殺害し旅に出た。浅太郎には十手持ちの伯父の勘介がいたが、その息子で浅太郎のいとこである徳二郎は行方不明となっていた。宿場を訪れた浅太郎は、近くの賭場で徳二郎と会い帰郷をすすめた。だが徳二郎はいかさま賭博をしたことから、土地を仕切る喜太郎一家に殺されてしまう。怒った浅太郎は親分である喜太郎を斬るが、自分も傷つき逃げ込んだ山中で気を失った。

【クレジット】

監督 三隅研次

製作 武田一義

企画 高桑義生

脚本 比佐芳武

撮影 武田千吉郎

美術 上里義三

音楽 上原げんと

助監督 西沢利治

出演 市川雷蔵 板割浅太郎

嵯峨三智子 おみよ

浜世津子 お栄

水戸光子 おこと

杉山昌三九 土手の喜太郎

黒川弥太郎 国定忠治